



自治労連 四国ブロック協議会
香川県事務所ニュース

〒760-0068 高松市松島町1丁目17-10
瀬戸内ビル2F
Tel.087-833-7501 Fax.087-833-7533
E-mail:koumuippan@festa.ocn.ne.jp
http://www5.ocn.ne.jp/~koumu/

2010春闘 「四国総行動」
内部留保の還元で、社会的責任を果たせ！！



JR高松駅前を出発集会

全労連・四国地区協議会は、3月2日JR高松駅前広場で出発集会、市内をデモ行進、国の出先機関8カ所・JR四国・四国電力に要請行動を、200人の参加で行いました。

集会では、田福千秋議長が「四国でも非正規労働者に続いて正規社員のリストラも始まっている。一方で大企業は、この10年間で内部留保を倍増している。雇用の確保・賃上げに還元させよう」と訴えました。また、徳島自治労連から、小松島市営バスの民間委託に伴う臨時職員の解雇闘争の職場報告がありました。

自治労連が担当する人事院四国事務局への要請行動は、田福議長をはじめ愛媛・高知・徳島・香川（4名）から10名、県国公から5名が参加しました。要請内容は、ルール破りの09年特別勧告に抗議し、10年人事院勧告に向け、公務労働の重要性を考慮し、生きがい・働きがいを持つ賃金・公務員制度改革・労働安全衛生・非正規職員の処遇などの改善を求めました。

集結集会では各要請行動を報告し、官民共同しての2010春闘勝利を確認しました



JR高松駅前からデモ行進を開始

< 今後の予定 >

- 3月12日～13日(土) 自治労連「第4回組織拡大専任者研修会」：熱海市
- 3月13日(土) 11:00～ 中四国ブロック医療交流集会：松山市民会館
- 3月15日(月) 18:30～ 高松医療圏・公的医療実態調査学習会：高松市男女共同参画センター
- 3月18日(木) 18:30～ 第4回働くものの学習交流集会・実行委員会：高松市民文化センター
- 3月25日(木) 18:10～ さぬき市職員組合・執行委員会：長尾支所・組合事務所
- 3月29日(月) 11:00～ 映画「いのちの山河」上映実行委員会：香川民医連事務所
- 4月3日(土) 13:00～ 四国ブロック・現業世話人会議：さぬき市大川支所・市民病院職労組合事務所

組合共済のスズメ

(共済学校に参加して)

一まず生命保険の共済とは(昔の生命保険とどう違う)労働組合の共済(自治労連共済)は、生命保険控除が受けられませんが、(少し損したような気になりますか?)それは、組合の共済が労働運動の基本である労働者の団結と共同ということから始まっていて、私共も今までは、深く考えていませんでした。私共は、自治労連共済は全国で約28,000人(生命基本組合員本人2010,1000人(現在)の仲間が加入して、勤く者の助け合いを信条とし、組合員の暮らしを守り、労働組合運動の維持発展(掛け金の一部が単組に還元されず)にも貢献するそれが自治労連共済です。

二自分がよいと思えば人に勧めたくなくなる。自治労連共済は、集めた掛け金の七割を共済金として支払い、1割強を地方組職(支部)や単組(支所)へ共済活動費としておろし、残りを大災害等に対する積立金や、管理費(事務経費/掛金の10%未満)につかい、それでも余る場合は、(前年度約8%掛金1ヵ月分)加入者へ還元金として返しています。

このようなことは、民間保険には絶対無理です。民間保険においては、集めた保険料の約3割しか、保険料の支払いに回りません。残り7割は、保険料の支払いの宣伝費や人件費、施設維持費、会社の利益、そして株主配当などで全部なくなってしまう。

「ニヤン」とか「グア」という鳴き声がある。さいわい外資系の保険などはもつとひどく2割の掛金しか保険金になりません。同一保障内容で比較した場合の掛金の安さについても自信を持って、自治労連共済の方が得であるといえます。私の場合で比べてみると

生命共済(死亡時一〇〇万円)	三九六〇円
共済掛金	約六五〇〇円
民間保険	七五〇円
共済掛金	二五〇九円
民間保険	二五〇九円
火災共済(家屋家財五四七〇万円)	二七三五円
共済掛金	八四六五円
民間掛金	八四六五円

※民間掛金は生命は今度株主配当をやり始める生命保険・医療は中村雅俊さんがTVCMをする会社。火災共済は某損害会社の保険との比較です。

先日、昼休みに私の会社で某保険会社がPRをしていました。自治労連共済の内容を話をすると、あまりに掛金が安いのであきれかたててしまいました。このように自治労連共済は自信を持って人に勧めることができます。

三共済学校で何を思ったか。共済学校には全国から過去最高の三名が参加しました。これは共済に対する組合員の関心が深まってきたことの表れだと思えます。しかしながら自治労連の組合員のうち共済に加入しているのは二割に落ちません。

一〇年春の拡大月間では「共済未加入組合員のうち三〇人に一人を新規加入者として迎え入れる」を目標としています。どうやれば加入者を増やせるかを考えた。ま同室となった高知県の東洋町の方と話をしました。が、義理で民間保険会社の方と話をした。入った人が多く、なかなか自治労連共済に入ってくれない。(皆さんも同じだろ)と思いましたが、医療共済であれば、他の保険よりも入りやすいので、是非検討してみたい。医療共済は加入者も拡大キャンペーンとして新規組合加入者にセッとする。私の組合は小さいのでセッとして一〇〇円です。交通共済(月額一〇〇円)であれば、交通共済(月額一〇〇円)で済ませたいと思っています。

四全労連共済が二月一日発足した。しかし、自治労連共済については今までの時も変わりがありません。今加入している臨時・非正規の仲間が、職場の統廃合や解雇等で自治労連の組合員に残れなくなりました。でも、県民労組に加入していただければ、引き続き同じような条件で従前の契約が引き継ぐことができます。

組合共済は労働運動の大きな柱です。一人でも、一口でも多くの加入をお願いします。結びとします。

報告岩部

